

大人気 投資マンガ

『インベスターZ』

財前くんと学ぶ

会社四季報で 業績がこれから よくなる銘柄 を探すコツ



リスクを減らして
株の勝率を高めるための**3箇条**

- 1 好業績で割安の銘柄に中長期で投資する
- 2 個人は大型株を避けて中小型株で勝負
- 3 業績を上方修正しそうな \odot 銘柄を選ぶ

(出所：『株で勝つ！ 会社四季報超活用法』会社四季報編集部編)

『会社四季報』で手軽に有望銘柄を探すためにはいくつかのコツがあります。

会社四季報編集部編『株で勝つ！ 会社四季報超活用法』では、3つの提案をしました(上表)。それでは、『インベスターZ』の主人公・財前孝史くんと、有望銘柄探しのコツを学んでみましょう。

▼『インベスターZ』とは



2013年6月に『モーニング』(講談社)で連載を開始し、単行本は9巻まで刊行中。作者は『ドラゴン桜』を手掛けた三田紀房氏。主人公は創立130年の中高一貫進学校・道塾学園にトップで合格した財前孝史くん、13歳。各学年成績トップだけが参加する秘密の「投資部」に入部した財前くんが、投資を通じて成長していく姿を描いている。2015年夏には連載に『会社四季報』が登場した。

©三田紀房/コルグ

個人投資家はこれから業績がよくなる中小型株に注目を

『株で勝つ！』会社四季報超活用法（会社四季報編集部編）では、個人投資家に向けて3つの提案をしました。1つ目は、「好業績で割安の銘柄に中長期で投資する」ことです。チャートだけを見て短期間に売買するよりも、四季報で好業績という裏付けのある銘柄を見つけて、その中からチャートもいい銘柄を選んだほうが、成功する確率が上がると思われまます。

提案の2つ目は、「大型株を避けて中小型株に注目する」と。機関投資家は証券会社アナリストがリポートを書く大型株主体に売買します。ただ、大型株は、たとえ好決算を発表しても、その晩の海外株式市場が下落すれば、翌日の株価が下がってしまうことがよくあります。情報量・資金量ともに

不利な個人投資家が、わざわざ大型株で機関投資家と競う必要はありません。中小型株に軸足を置くという作戦が有効だと考えられます。

3つ目は、会社側が今期業績の上方修正をする前に、「四季報でこれから業績がよくなる銘柄を探しましょう」ということ。会社が業績見通しを上方修正すると、1株当たり利益が増えます。たとえば、これまで予想1株益が20円だった会社が、1株益40円に上方修正したとします。この会社の株価が400円であれば、PER（株価収益率）は20倍から10倍に急低下する（こと）になります。すると株価に上振れ余地が出てきます。

では、会社が発表する前に、これから業績がよくなる会社を探すにはどうすればいいのでしょうか。

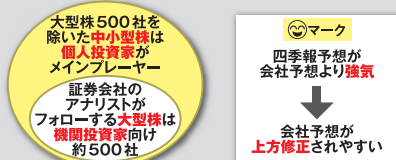
うか。それには、四季報の欄外についている㊟（会社比強気）マークが役立つ（す）。㊟は「ちょっとマークと呼ばれています。会社四季報の業績予想は、業界ごとに担当している記者が独自に数字を作っています。会社が発表している今期業績予想は、公の場で開示しているのて、根拠はあるのですが会社によってもかなり「クセ」があるのです。実際、毎年のように期中に上方修正（下方修正）を繰り返す会社があります。それぞれの会社が持っている「クセ」を業界担当記者が取材によつて読み解き、客観的な独自予想を作っているのが四季報の特徴です。

四季報では、3カ月前に発売した四季報予想のレビューをしています。結果はワイド版袋とじランキングで紹介していますが、3カ月で株価が5倍、6倍に上昇した銘柄も実在します。

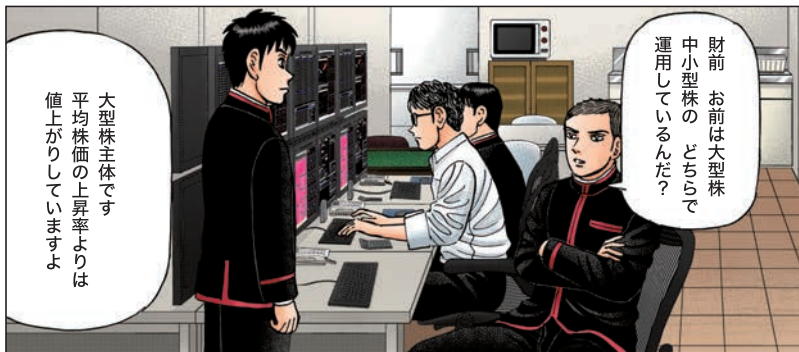
ここで3つの提案をまとめる

と右図のようになります。大型株は機関投資家に任せて、個人投資家は中小型株に軸足を置きましょう。中小型株の中で㊟マークがついている銘柄を有望銘柄の母集団にします。こうして選んだ母集団の中で、チャートがいい銘柄を探してください。そうすれば、株式投資においてリスクを減らして勝率を上げることができるようになるのではありませんよ。

アナリストがカバーしていない 中小型300社&㊟マークから有望株を探す

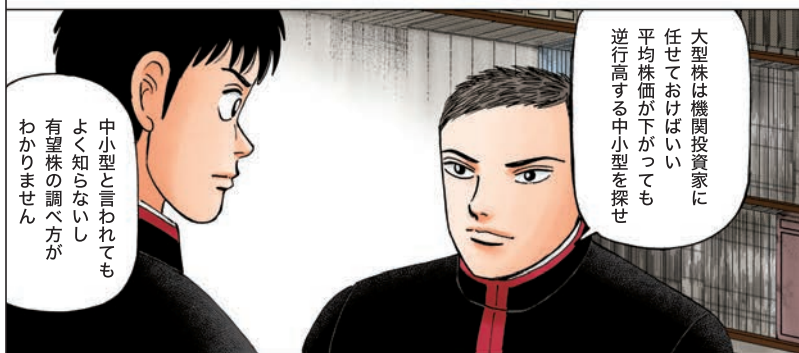


- ▶ 好業績なのに多くの人が気づいていないお宝銘柄を四季報で探す
- ▶ 有望銘柄の母集団を作り、チャートがいい会社を発掘!



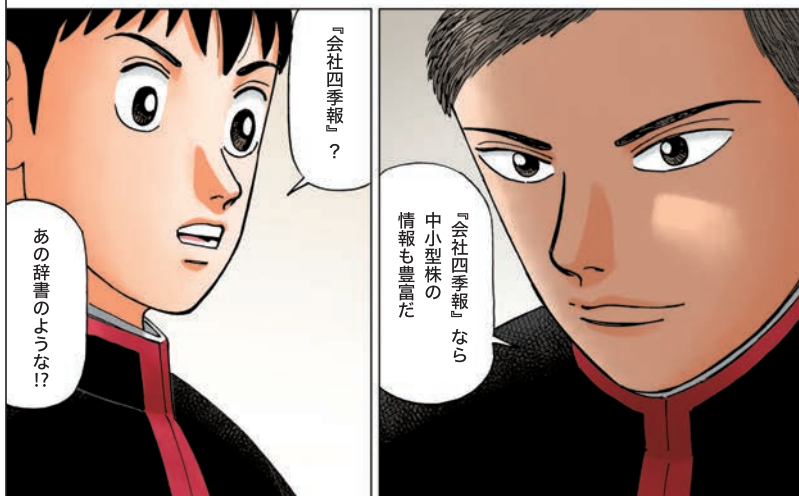
大型株主体です
平均株価の上昇率よりは
値上がりしていますよ

財前 お前は大型株
中小型株のどちらで
運用しているんだ？



大型株は機関投資家に
任せておけばいい
平均株価が下がっても
逆行高する中小型を探せ

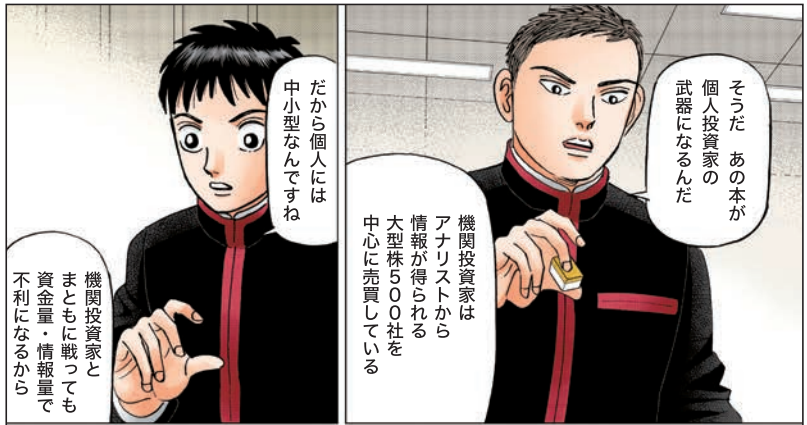
中小型と言われても
よく知らないし
有望株の調べ方が
わかりません



『会社四季報』？

『会社四季報』なら
中小型株の
情報も豊富だ

あの辞書のような!?

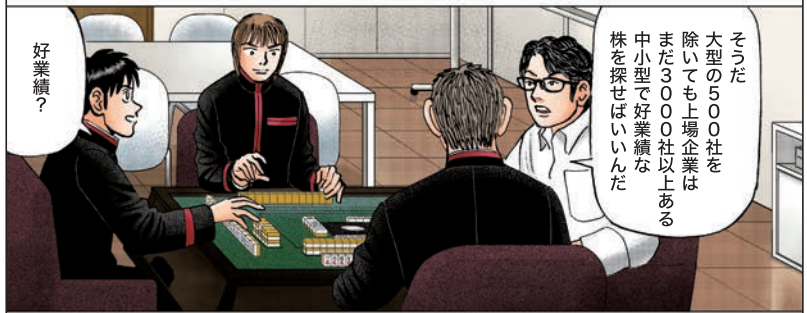


そうだ あの本が
個人投資家の
武器になるんだ

機関投資家は
アナリストから
情報が得られる
大型株500社を
中心に売買している

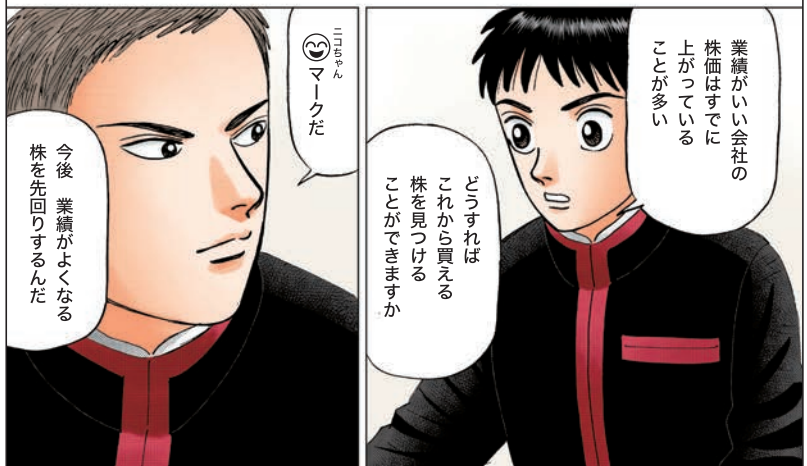
だから個人には
中小型なんですな

機関投資家と
まともに戦っても
資金量・情報量で
不利になるから



そうだ
大型の500社を
除いても上場企業は
まだ3000社以上ある
中小型で好業績な
株を探せばいいんだ

好業績？

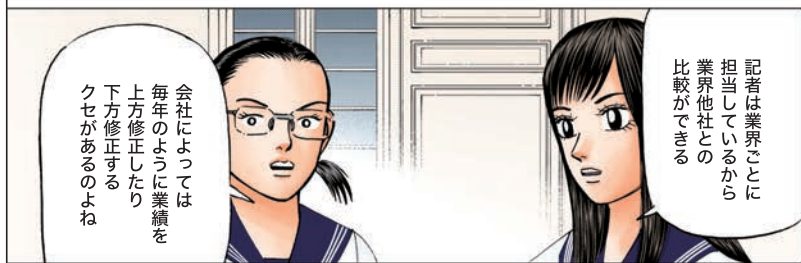
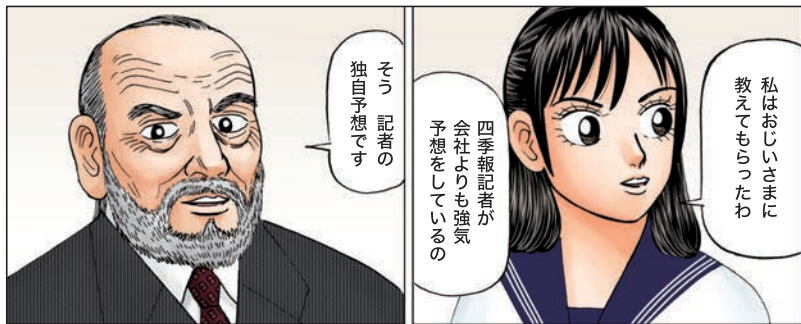


業績がいい会社の
株価はすでに
上がっている
ことが多い

どうすれば
これから買える
株を見つける
ことができますか

ニッコちゃん
マークだ

今後 業績がよくなる
株を先回りするんだ



「見出し」も使えるわ
【最高益】は純利益が
過去最高を更新する
ということよ

株価も過去最高に
なっておかしくないわ

PERの発想だね

PERは株価を
1株益で割って算出する
1株益が増えるのなら
株価が上がっても
不思議ではない

だったら

「連続最高益」のほうが
もっと株価が上がっても
おかしくないね

2年続いて過去
最高の利益に
なるんだから

有望そうな銘柄の
母集団を作るんだね

次にチャートを見て
業績がよくなるのに
まだ株価が上がっていない
銘柄を絞り込むんだ

そうね

四季報記者が強気で
③マークをつけていたり
「見出し」が強い銘柄を
まずは四季報で探すの

『会社四季報』を使う
この方法ならほくにも
できる気がする

3000社以上の
中小型株があるんだから
まだ上がっていない
銘柄が見つかりそうだ！